

喜多方市の産学官連携の取組み

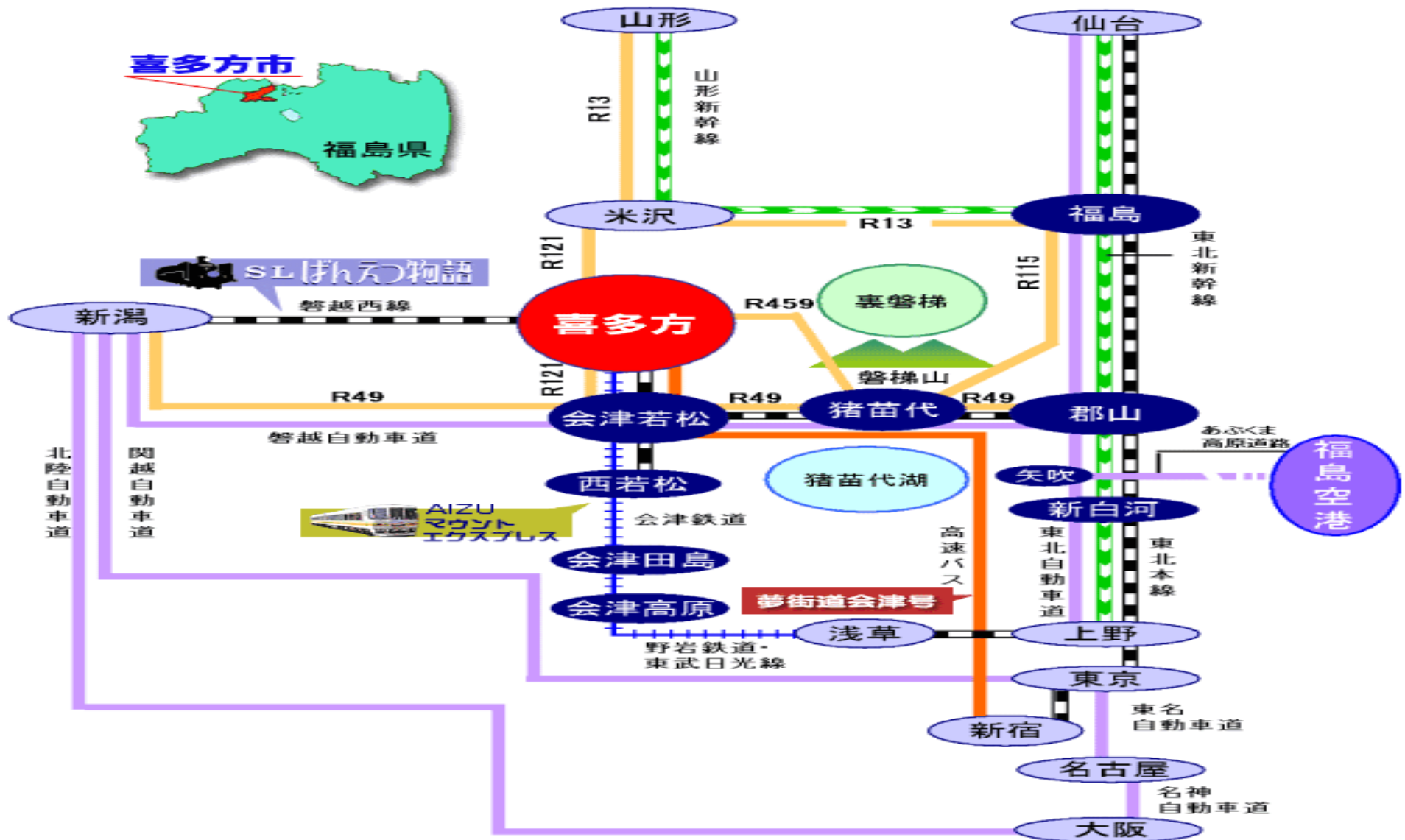
～人事交流による山形大学CRCコーディネータとしての活動～

○小川修一(喜多方市役所)
小野浩幸(山形大学)

喜多方市の概要



周辺地域への交通アクセス状況



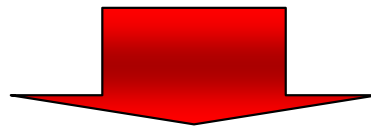
喜多方市が大学へ職員を派遣するねらい

- 1 地元産業（企業）の振興
- 2 人事交流による情報交換、人脈形成
- 3 人材育成
- 4 企業誘致の手段

喜多方市の産学官連携の歩み

- 1 平成15年度より国立大学法人山形大学地域共同研究センターへ共同研究員派遣
- 2 平成17年度より国立大学法人福島大学地域創造支援センターへ連携協力員派遣
- 3 平成18年度より公立大学法人会津大学産学イノベーションセンターへ地域連携協力員派遣

大学ごとに担当者を配置しコーディネート活動

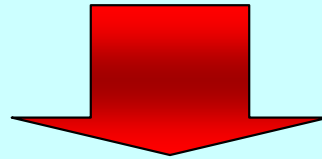


企業と大学との連携を円滑に進める体制整備

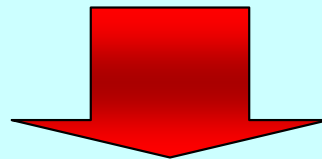
喜多方市派遣職員活動 その1

○ 派遣コーディネーターの地道な活動

積極的な企業訪問
(年間訪問回数延べ100回以上)



地元立地企業との連携強化

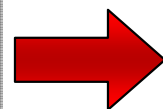


相談件数の増加

喜多方市の産学官連携マッチングパターン

1

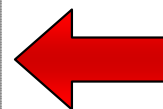
市内企業の技術ニーズ



大学の技術シーズ

2

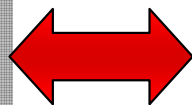
市内企業の技術シーズ



大学の技術ニーズ

3

市内企業の技術シーズ



大学の技術シーズ

事例1：市内企業の技術ニーズと大学の技術シーズのマッチング

企業の技術課題解決型、技術改良型連携

- ① 市内食品加工メーカー群と山形大学農学部の研究をマッチングさせ研究会の発足を支援
- ② 市内半導体メーカーと山形大学工学部電気電子工学科の研究シーズをマッチングさせ共同研究開始

事例2:市内企業の技術シーズと大学の技術ニーズのマッチング

新事業創出型連携

- ① 山形大学工学部電気電子工学科のある研究室が取組んでいる研究テーマの技術課題解決のために市内半導体メーカーと技術情報交換の場を設定

事例3：市内企業の技術シーズと大学の技術シーズのマッチング

新事業発展型連携

- ① 山形大学工学部物質化学工学科の技術シーズと市内光通信部品メーカーの技術シーズをマッチングさせ共同研究開始

喜多方市派遣職員活動 その2

○ 遊休市有施設を活用した喜多方サテライト設置

喜多方市には大学などの高等教育機関が存在しない
大学等の高等教育研究機関が欲しい(産業振興には欠かせない)

平成15年度より山形大学へ
共同研究員派遣
大学との連携強化を図る

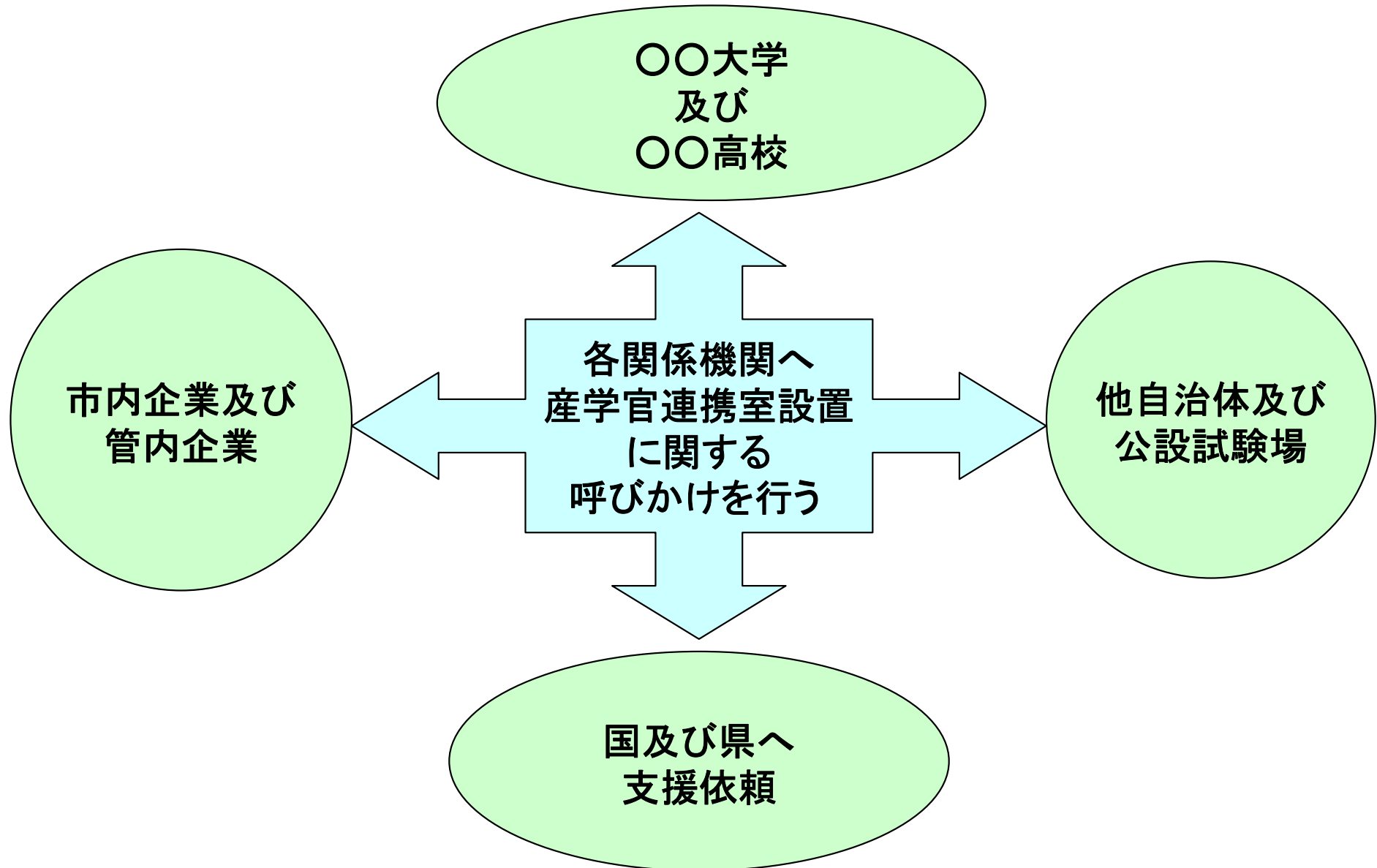
山形大学地域共同研究センターへ
喜多方市へのサテライト開設について
検討依頼

山形大学地域共同研究センター・喜多方市 連携協力協定調印
産学官連携室・山形大学地域共同研究センター喜多方サテライト設置

市町村合併
旧町村執務室遊休化
新たな活用法模索

市の公共用財産使用に関する検討
地域の産業振興を目的とする(行政目的)
産学官連携のための部屋(空部屋間借)

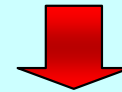
今後の動き



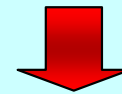
今後の動き実績1

○ 喜多方サテライト設置への賛同実績

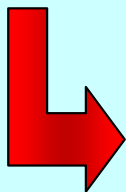
福島大学へ喜多方市産学官連携室への喜多方サテライト設置の検討依頼



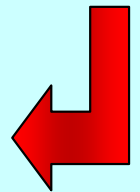
福島大学が幹事校となっている福島県高等教育協議会地域連携推進ネットワークで喜多方市産学官連携室へのサテライト設置について検討



ネットワークの総会で喜多方サテライト設置承認



福島県高等教育協議会地域連携推進ネットワークと喜多方市との
産学官連携に関する協定調印
喜多方サテライト設置



今後の展望

Step1:関係機関への呼びかけ

産学官連携室・喜多方サテライト設置に関する主旨に賛同

Step2:関係団体との連携（情報交換、各種交流、イベント）

Step3:連携強化（企業間交流、自治体間交流、大学間交流、高校間交流等）
人財育成（高大連携、大大連携、高高連携、産学連携等）

Step4:産業創出（産学官連携を活かした産業創出）

Step5:産業集積（地域連携を活かした産業集積）